



謹んで新年のご挨拶を申し上げます

特定非営利活動法人 通院介護センター「さわやか」

理事長 山田 浩美

皆様におかれましては新しい年をお健やかに過ごされたいと存じますと綴りたかったのですが、元日の夕方突然起こった令和六年能登半島地震はマグニチュード七、六最大震度七を観測しました。すぐに津波警報も出されテレビで見えていた私でも胸が苦しくなるような思いがしました。日にちが経つにつれて被害の状況が映像で映し出されあまりの悲惨な状況に言葉もありませんでした。

石川県七尾市の総合病院の二〇〇人ほどの透析患者も断水による水不足のために透析が出来ずに別の病院に搬送され入院するなどして透析を受けられたそうです。また片道三時間以上をかけて別の透析病院に行かれた方もいらっしゃると思います。

自衛隊からの水の供給を受け一部の患者には透析を再開できる見込みだそうです。東京都や近隣の府県などによる支援で透析患者や障害者施設の利用者、介護施設の高齢者などの受け入れを表明して下さいという報道がありました。

まだいまだに大きな余震が続いているなか避難所で不安な思いや大変なご苦労をされているという映像がありました。その中で障害を持っている方々やそのご家族はそれ以上の不安やご苦労をされているのではないかと思われます。その方々に寄り添って下さる方が一人でも多くいるように願っています。

石川県だけでもお亡くなりになった方は二〇〇人を超えています。そしてこの震災に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。一日も早く復旧・復興がなされ、普段の穏やかな生活を取り戻すことができますようにお祈り申し上げます。

また、二日には羽田空港で旅客機が燃えるという衝撃的なニュースが飛び込んできました。幸いにも乗客・乗員は全員避難できたと聞き、命だけは助かりよかったです。また、

そして一月三日には地元北九州市小倉北区の鳥町食道街が火災に見舞われ、隣接する魚町銀店街の一部を含む飲食店など三十六店舗約二九〇〇平方メートルが焼けました。

戦後の闇市から続く木造の飲食店が立ち並ぶところでした。場所が昨年二度の火災があった旦過市場の近くでした。

改めまして、今回の震災や事故に遭われた皆様にお見舞いを申し上げます。共に一日も早い復旧・復興を願っております。またこれらの復旧・復興には時間がかかると聞いています。私たちに出来る支援を少しずつでも末永くさせていただきます。この様に皆様におかれましては、心落ち着かない三が日を過ごされたことと存じます。

令和六年の辰年はこれ以上大きな災害が起きませんように心から祈る次第です。「さわやか」事務局一同今年も頑張りますので、皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願

い申し上げます。

新年のご挨拶を申し上げます

常務理事 梶原 待子

事務局長 高原 由美

事務局 貞谷 希望

新年に石川県能登地域で発生した地震、羽田空港で発生した航空機事故、また「さわやか」の地元である北九州市小倉で発生した火災と心の痛む災害や事故がおこりました。

被災された皆様、事故に遭われた皆様へ心からお見舞い申し上げます。その家族の皆様にも心から哀悼の意を表します。

一日も早く平穏な生活に戻りますようお願いしております。

今年が辰年です。「十干十二支（じつかんじゅうにし）」では今年が「甲辰（きのえ・たつ）」にあたります。

成長していき、姿を整えていくという縁起の良い年になるといわれています。

皆様にとつて笑顔あふれる辰年となりますように心からお祈り申し上げます。

「さわやか」にとつて今年も「さわやか」にたいと思っています。

今年も「さわやか」に対しまして、皆様のご理解・ご協力をお願いし、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願

い致します。

